



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 ゼビオホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8281 URL <http://www.xebio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 諸橋 友良

問合せ先責任者 (役職名) グループ財務担当執行役員 (氏名) 中村 和彦

TEL 03-6870-6008

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	118,028	10.2	4,041	92.2	5,010	54.9	3,146	95.1
2022年3月期第2四半期	107,146	17.8	2,102	885.7	3,234	565.8	1,612	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,569百万円 (52.1%) 2022年3月期第2四半期 1,689百万円 (909.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	71.16	70.88
2022年3月期第2四半期	36.48	36.35

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	202,492	120,524	59.3	2,715.12
2022年3月期	208,308	118,708	56.8	2,674.23

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 120,038百万円 2022年3月期 118,230百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		15.00		15.00	30.00
2023年3月期		15.00			
2023年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	241,516	8.2	7,031	40.6	7,685	2.1	4,115	7.3	93.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	47,911,023 株	2022年3月期	47,911,023 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	3,700,077 株	2022年3月期	3,699,987 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	44,210,958 株	2022年3月期2Q	44,211,234 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績等はこれらの予想値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、3月にまん延防止等重点措置が全国で解除されて以降は、新型コロナウイルス感染症の第7波が到来しましたが、大きな行動制限が無かったことから、持ち直しの動きが見られました。先行きについては、各種政策による景気の向上が期待されているものの、世界的な金融引締め等が進む中での金融資本市場の変動や原材料価格の上昇等による下振れリスクが懸念されております。

スポーツ用品販売業界におきましては、部活動を始めとする学校活動やスポーツ大会の再開が活発化し、一般競技スポーツ商品に加えて、外出機会の増加に伴うライフスタイル商品の需要回復が見られました。市場拡大が継続しているゴルフやアウトドアレジャーといった屋外スポーツにおいても、3年ぶりに行動制限のない長期休暇や安定した気候などが追い風となりました。

この様な状況の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染対策を継続しつつ、市場環境が良好なカテゴリーのシェア拡大に努めました。ゴルフ事業ではフィッティング販売による接客サービスの強化、アウトドアではトレッキングやキャンプの売場拡大や品揃え強化を行いました。また、各種スポーツ活動の再開を受け、各地域と連携をしたヤングアスリート層の取り込みに注力しました。これらと並行して、環境変化に対応するために、人材開発と業務標準化を重点テーマに掲げ、主力業態の再構築にも取り組んでおります。

新規出店及び閉店につきましては、当第2四半期連結累計期間では14店舗を出店し6店舗を閉店しました。これらにより、当第2四半期末におけるグループの総店舗数は907店舗となり、グループ合計の売場面積は前連結会計年度末に比べて1,349坪増加し201,876坪となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高1,180億28百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益40億41百万円（前年同期比92.2%増）、経常利益50億10百万円（前年同期比54.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益31億46百万円（前年同期比95.1%増）となりました。

〔主な商品部門別の営業概況〕

<ゴルフ部門>

ゴルフ部門では、近年ビギナー層を中心に市場拡大が継続したことに加えて、フィッティング販売による接客サービス強化を図ったことにより顧客数も増加し、引き続き好調に推移しました。以上の結果、ゴルフ部門の売上高は、前年同期比13.7%の増加となりました。

<一般競技スポーツ・シューズ部門>

一般競技スポーツ・シューズ部門では、部活動やスポーツ大会に向けた一般競技スポーツ用品の需要が回復傾向にあり、3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークやお盆休みなど人流の回復に伴い、タウンシューズやウォーキングシューズが前年を上回りました。以上の結果、一般競技スポーツ・シューズ部門の売上高は、前年同期比8.5%の増加となりました。

<スポーツアパレル部門>

スポーツアパレル部門では、一般競技スポーツの需要回復に加えて、例年よりも気温が高く推移したこともあり、カットソーなど夏物を中心に好調に推移しました。以上の結果、スポーツアパレル部門の売上高は、前年同期比4.0%の増加となりました。

<アウトドア・その他部門>

アウトドア・その他部門では、キャンプ市場の拡大は一巡してきている一方、トレッキングは、カジュアル層を中心に山登り需要が回復傾向にあります。加えて、カジュアル用途のアウトドアブランドウェアが引き続き好調に推移し、マリンレジャー用品は気温が高く天候に恵まれたこともあり、好調に推移しました。以上の結果、アウトドア・その他部門の売上高は、前年同期比9.7%の増加となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、9月中旬以降気温が低下してきた中で秋・冬物の品揃えを強化したことで商品が増加し、店舗向け投資やシステム投資により固定資産が増加しました。一方で、現金及び預金は長期借入金の返済により減少しました。以上の結果、前連結会計年度末に比べ58億15百万円減少し2,024億92百万円となりました。

負債は、春・夏物商品仕入に対する支払手形及び買掛金並びに電子記録債務が減少し、また長期借入金の一部を返済しました。以上の結果、前連結会計年度末に比べ76億30百万円減少し819億68百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ18億15百万円増加し1,205億24百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、336億48百万円となり、前連結会計年度末に比べて62億45百万円減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、23億51百万円の収入となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を51億78百万円計上したこと、仕入債務の減少による資金の減少額が26億5百万円などです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、23億99百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が12億72百万円、無形固定資産の取得による支出が13億98百万円などです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、59億37百万円の支出となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出が50億61百万円、配当金の支払額が6億62百万円などです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行なっておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,893	33,648
受取手形及び売掛金	22,477	21,855
営業貸付金	967	918
商品	75,921	76,666
未収還付法人税等	1	13
その他	8,043	7,882
貸倒引当金	△292	△422
流動資産合計	147,012	140,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,403	52,380
減価償却累計額	△36,192	△38,171
建物及び構築物 (純額)	14,211	14,209
土地	13,910	13,981
リース資産	2,780	2,869
減価償却累計額	△1,424	△1,623
リース資産 (純額)	1,356	1,245
建設仮勘定	75	241
その他	21,304	21,869
減価償却累計額	△18,965	△19,299
その他 (純額)	2,339	2,570
有形固定資産合計	31,891	32,249
無形固定資産		
のれん	716	514
ソフトウェア	1,854	2,846
その他	2,924	2,672
無形固定資産合計	5,495	6,033
投資その他の資産		
投資有価証券	727	829
長期貸付金	24	17
繰延税金資産	4,852	4,575
差入保証金	1,851	1,649
敷金	14,142	14,233
投資不動産	3,126	3,126
減価償却累計額	△1,276	△1,286
投資不動産 (純額)	1,849	1,839
退職給付に係る資産	139	139
その他	582	577
貸倒引当金	△260	△214
投資その他の資産合計	23,908	23,648
固定資産合計	61,295	61,931
資産合計	208,308	202,492

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,388	22,039
電子記録債務	28,099	25,984
短期借入金	770	800
1年内返済予定の長期借入金	5,953	1,825
未払法人税等	1,808	1,413
賞与引当金	1,470	1,382
役員賞与引当金	15	6
ポイント引当金	91	91
その他	14,087	13,893
流動負債合計	74,684	67,435
固定負債		
長期借入金	6,459	5,695
リース債務	2,001	2,201
退職給付に係る負債	905	903
役員退職慰労引当金	59	59
資産除去債務	4,640	4,788
その他	849	884
固定負債合計	14,915	14,532
負債合計	89,599	81,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,119	16,119
利益剰余金	92,427	94,910
自己株式	△6,498	△6,498
株主資本合計	117,984	120,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	113
為替換算調整勘定	638	△124
退職給付に係る調整累計額	△439	△418
その他の包括利益累計額合計	245	△429
新株予約権	435	363
非支配株主持分	42	122
純資産合計	118,708	120,524
負債純資産合計	208,308	202,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	107,146	118,028
売上原価	64,779	72,751
売上総利益	42,367	45,276
販売費及び一般管理費	40,264	41,235
営業利益	2,102	4,041
営業外収益		
受取利息	33	21
受取配当金	3	6
不動産賃貸料	289	345
為替差益	—	623
業務受託料	153	151
助成金収入	776	83
その他	337	169
営業外収益合計	1,595	1,401
営業外費用		
支払利息	49	48
為替差損	27	—
不動産賃貸費用	227	219
業務受託費用	109	124
その他	50	39
営業外費用合計	463	433
経常利益	3,234	5,010
特別利益		
固定資産売却益	6	3
受取保険金	64	108
受取和解金	—	72
預り保証金解約益	—	8
新株予約権戻入益	24	102
関係会社株式売却益	102	—
特別利益合計	197	294
特別損失		
固定資産除却損	175	103
固定資産売却損	3	0
賃貸借契約解約損	—	21
特別損失合計	178	126
税金等調整前四半期純利益	3,253	5,178
法人税、住民税及び事業税	1,583	1,694
法人税等調整額	47	239
法人税等合計	1,630	1,933
四半期純利益	1,623	3,244
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	98
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,612	3,146

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,623	3,244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	66
為替換算調整勘定	△38	△762
退職給付に係る調整額	42	21
その他の包括利益合計	66	△675
四半期包括利益	1,689	2,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,679	2,470
非支配株主に係る四半期包括利益	10	98

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,253	5,178
減価償却費	1,909	1,909
のれん償却額	217	202
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	73	83
賞与引当金の増減額 (△は減少)	336	△88
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	△8
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△929	△0
契約負債の増減額 (△は減少)	—	△55
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△84	△1
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△73	△0
受取利息及び受取配当金	△37	△28
支払利息	49	48
受取保険金	△64	△108
受取和解金	—	△72
助成金収入	△776	△83
預り保証金解約益	—	△8
新株予約権戻入益	△24	△102
関係会社株式売却損益 (△は益)	△102	—
固定資産除却損	175	103
固定資産売却益	△6	△3
固定資産売却損	3	0
賃貸借契約解約損	—	21
売上債権の増減額 (△は増加)	753	846
営業貸付金の増減額 (△は増加)	115	49
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,980	△509
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,984	△2,605
未払金の増減額 (△は減少)	△625	△674
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,887	1,161
その他	2,256	△1,042
小計	△4,442	4,212
利息及び配当金の受取額	37	28
利息の支払額	△46	△51
法人税等の支払額	△1,321	△2,210
法人税等の還付額	836	108
保険金の受取額	230	108
和解金の受取額	—	72
助成金の受取額	776	83
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,930	2,351
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,670	△1,272
有形固定資産の除却による支出	—	△94
有形固定資産の売却による収入	3	20
無形固定資産の取得による支出	△565	△1,398
投資有価証券の取得による支出	△212	—
貸付金の回収による収入	7	7
敷金及び保証金の差入による支出	△394	△98
敷金及び保証金の回収による収入	234	218
預り保証金の返還による支出	△10	△6
預り保証金の受入による収入	14	11
その他	△83	214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,676	△2,399

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	170	30
長期借入金の返済による支出	△228	△5,061
長期借入れによる収入	—	170
リース債務の返済による支出	△378	△412
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△703	△662
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,139</b>	<b>△5,937</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66	△260
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△7,812</b>	<b>△6,245</b>
現金及び現金同等物の期首残高	44,323	39,893
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>36,511</b>	<b>33,648</b>

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。